

全国美術館会議／東京富士美術館 「東京富士美術館収蔵品データベースほか」

— “デジタルアーカイブを日常にする”試み —

報告者：鴨木年泰／全国美術館会議 情報・資料研究部会 幹事
東京富士美術館 学芸課長

HOME

全国美術館会議について ▾

組織と活動 ▾

印刷物等 ▾

キャビネット ▾

ENGLISH



全国美術館会議 会員館一覧

トピックス

- 募集** 2022/08/12 [文化財保存支援機構から「令和4年度『文化財保存修復を目指す人のための実践コース』のご案内](#)
- 募集** 2022/08/05 [\(公財\)日本科学協会から「2023年度笹川科学研究助成の募集\(9/15～10/17\)について」のご案内](#)
- 2022/08/04 [「新型コロナウイルス対策関係のお知らせ」を更新しました。](#)
- 2022/08/04 [文化庁から「オミクロン株のBA.5系統への置き換わりを見据えた感染拡大に対応するための医療機関・保健所の負担軽減等について\(再周知\)」お知らせ](#)
- 2022/08/02 [文化庁から「新型コロナウイルス感染症に係る医療機関・保健所からの証明書等の取得に関する配慮について」お知らせ](#)

全国406館

ログイン

人々と
美術をつなぐ
架け橋へ



全美的
美術館

リンク集

美術館の原則と

- HOME
- 全国美術館会議について ▾
- 組織と活動 ▾
- 印刷物等 ▾
- キャビネット ▾
- ENGLISH



- 組織図
- 理事会 >
- 総会
- 委員会 >
- 研究部会 >
- 過去の研究部会 >
- 学芸員研修会
- 災害対策
- ステートメント



全国美術館会議 会員館一覧

トピックス

- 募集** 2022/08/12 [文化財保存支援機構から「令和4年度『文化財の修復を目指す人々のための実践コース』」のご案内](#)
- 募集** 2022/08/05 [\(公財\)日本科学協会から「2023年度笹川科学研究助成の募集\(9/15～10/17\)について」のご案内](#)
- 2022/08/04 [「新型コロナウイルス対策関係のお知らせ」を更新しました。](#)
- 2022/08/04 [文化庁から「オミクロン株のBA.5系統への置き換わりを見据えた感染拡大に対応するための医療機関・保健所の負担軽減等について\(再周知\)」お知らせ](#)
- 2022/08/02 [文化庁から「新型コロナウイルス感染症に係る医療機関・保健所からの証明書等の取得に関する配慮について」お知らせ](#)

全国406館

ログイン

人々と美術をつなぐ 架け橋へ

全日本の地図に美術館のアイコンが散らばっている。全美的美術館

リンク集

美術館の原則と

HOME

全国美術館会議について ▾

組織と活動 ▾

印刷物等 ▾

キャビネット ▾

ENGLISH

組織と活動

- [組織図](#)
- [理事会](#)
- [総会](#)
- [委員会](#)
- [研究部会](#)
- [保存研究部会](#)
- [教育普及研究部会](#)
- [情報・資料研究部会](#)
- [小規模館研究部会](#)
- [美術館運営制度研究部会](#)
- [地域美術研究部会](#)
- [過去の研究部会](#)
- [学芸員研修会](#)

情報・資料研究部会

1993年に第1回会合をもって活動を始めた情報処理ワーキング・グループは、2004年度に情報・資料研究部会へと名称を改め、以来、ホームページや所蔵品データベース等の美術館活動を支える情報技術と、所蔵品目録や展覧会カタログ等の美術館が取り扱う資料とをめぐって積極的な活動に取り組んできました。図書や作品情報の扱いにおける従来からの普遍的課題とそれを支える情報技術という現代的課題との両面にバランスよく配慮するように努めながら、情報共有型の部会活動を目指しています。

近年は美術館を取り巻く情報環境の変化を踏まえ、「美術館のホームページにおける情報発信のあり方」「所蔵品データベースの構築と公開」「文化遺産オンラインへの参加」「著作権問題」「美術館図書室における資料整理」「美術館刊行物の書誌情報」等について討論を重ね、学芸員研修会や企画セミナーを通じてその成果を全国の美術館に還元することに努めています。

2004年7月には、全美会員各館における収蔵品データベース公開状況を調査し、データベースの枠を超えた所蔵品、蔵書、開催展覧会のユニークな情報発信の事例を確認しました。翌2005年4月には美術館のホームページについて、ドメイン管理や業務分担、外注化等の情報発信の実態把握を目的としたアンケート調査を実施しました。

このような動向調査の一方、2009年から3年間にわたり、全国の学芸員に向けて2日間の企画セミナー「美術情報・資料の活用——展覧会カタログからWebまで」を実施いたしました。基本的な書誌情報の取り扱いから美術館の資料・情報の活用までを網羅する内容で、参加者から好評を得ることができました。このほかワークショップや学芸員研修会(第25回、第29回)を通じて、作品情報発信等をめぐる課題共有の場を設けてきました。

さらに2014年12月には、3年間の準備期間を経て、全美会員各館が発行する収蔵品目録やデータベースのうち、もっとも基礎的・網羅的なものを精選し、その書誌情報を収録する『全国美術館会議会員館 収蔵品目録総覧2014』(全美目録総覧2014)をインターネット上で公開しました。

これからの美術館に求められることは、情報発信の量と頻度をひたすら拡大する段階から、いかにその内

全国美術館会議 情報・資料研究部会編

『全国美術館会議会員館 収藏品目録総覧 2014』（全美目録総覧2014）



本『全国美術館会議会員館 収藏品目録総覧2014』（全美目録総覧2014）は、全国美術館会議


■ その他

ダウンロード

「全美目録総覧2014」PDFデータ
(PDF : [933.4KB](#))

「全美目録総覧2014」エクセル形式データ (Excel : [170.2KB](#))

PDFデータとエクセル形式データは同一の内容です。取り扱いのしやすいデータをご利用ください。



本『全国美術館会議会員館 収蔵品目録総覧2014』（全美目録総覧2014）は、全国美術館会議の会員各館が発行する収蔵作品目録や作品選集、データベースのうち、もっとも基礎的・網羅的なものを精選し、その書誌情報を収録するものです。

本総覧の刊行にいたった背景には、美術館収蔵品の情報公開をめぐるきびしい現実があります。当部会は1993年の発足当初から収蔵品の情報公開を一つの大きな柱として研究活動に取り組み、収蔵品データベースなどをめぐり研修も実施してまいりましたが、近年、部会が独自に行った美術館ホームページ動向調査からはこの10年間で収蔵品データの公開にあまり大きな進展はみられないという結果が得られました。ここから、今日の美術館の現実に向き合うならば、データベースの問題は一旦脇に置いて、冊子体の収蔵品目録の状況を整理することが先決ではないかと我々は考えるようになりました。国内所在の全作品を網羅する目録を作るのはあまりに膨大ですが、それよりも一歩手前の収蔵品目録の総覧であれば実現可能なのではないかと取り組んだのが本総覧です。

本総覧の目的は、国内の美術作品情報の集大成という大きなテーマを見据えつつ、美術作品の全国所在調査に役立つ基礎資料を作成することにあります。しかし膨大な量が見込まれる作品データを一冊にまとめるのではなく、その作品データ収集の過程で必要となる参考図書（収蔵品目録、作品選集等）を一覧にすることを当面の目標と掲げました。したがって本総覧には美術作品データで

ジャパンサーチ連携にかかる所蔵作品データ提供機関の募集について

一般社団法人全国美術館会議は、[デジタルアーカイブジャパン推進委員会及び実務者検討委員会](#)（事務局：内閣府知的財産戦略推進事務局）の方針のもと国立国会図書館から2020年7月7日付で発出された依頼文書を受けて、ジャパンサーチに対し所蔵作品データを提供する美術館を全国的に取りまとめる役（[「つなぎ役」](#)）を引き受けることとなりました。

つきまして、下記要領により所蔵作品データ提供機関を募集します。

◎ 内容

1. ジャパンサーチ連携と全国美術館会議の役割

ジャパンサーチとは、我が国における多様な分野のコンテンツの統合的検索を可能にするポータルサイトです。デジタルアーカイブジャパン推進委員会・実務者検討委員会（事務局：内閣府知的財産戦略推進事務局）の運営方針に基づき、国立国会図書館が運営しています。昨年2月に試験版が公開され、正式版公開は今年夏に予定されています。

美術館がジャパンサーチとの連携を希望する場合、各館が個別に直接交渉するのではなく、分野ごとの「つなぎ役」を介して連絡することが求められています。その仲介・取りまとめの役割を今般、全国美術館会議が担うこととなりました。

ジャパンサーチに対し所蔵作品データを提供する美術館を全国的に取りまとめる役（「つなぎ役」）を引き受けることとなりました。

つきまして、下記要領により所蔵作品データ提供機関を募集します。

◎ 内容

1. ジャパンサーチ連携と全国美術館会議の役割

ジャパンサーチとは、我が国における多様な分野のコンテンツの統合的検索を可能にするポータルサイトです。デジタルアーカイブジャパン推進委員会・実務者検討委員会（事務局：内閣府知的財産戦略推進事務局）の運営方針に基づき、国立国会図書館が運営しています。昨年2月に試験版が公開され、正式版公開は今年夏に予定されています。

美術館がジャパンサーチとの連携を希望する場合、各館が個別に直接交渉するのではなく、分野ごとの「つなぎ役」を介して連絡することが求められています。その仲介・取りまとめの役割を今般、全国美術館会議が担うこととなりました。

2. 募集資格・条件

会員館で、かつウェブサイトデータベースを公開していることを条件とします。そのほか詳細は「[（説明資料）ジャパンサーチとの連携とは？](#)」をご参照ください。

3. 募集時期

2020年7月17日に募集受付を開始します。

受付後、国立国会図書館との間で技術的な課題がすべて解決され、また書面（「ジャパンサーチへのデータの提供について（回答）」）の提出が完了した美術館から、順次データの提供を開始いただきます。

定されています。

美術館がジャパンサーチとの連携を希望する場合、各館が個別に直接交渉するのではなく、分野ごとの「つなぎ役」を介して連絡することが求められています。その仲介・取りまとめの役割を今般、全国美術館会議が担うこととなりました。

2. 募集資格・条件

会員館で、かつウェブサイトデータベースを公開していることを条件とします。そのほか詳細は [「\(説明資料\) ジャパンサーチとの連携とは？」](#) をご参照ください。

3. 募集時期

2020年7月17日に募集受付を開始します。

受付後、国立国会図書館との間で技術的な課題がすべて解決され、また書面（「ジャパンサーチへのデータの提供について（回答）」）の提出が完了した美術館から、順次データの提供を開始いただきます。

[募集要項](#)

◎ 募集・問い合わせ窓口

一般社団法人全国美術館会議事務局 気付 情報・資料研究部会

E-mail: [info\(a\)zenbi.jp](mailto:info@zenbi.jp) [(a)を@に変更してください]

件名を「**ジャパンサーチ連携**」とし、データベースURLを添えてお問い合わせください。折り返し、データ提供上の取り決めを記した書面をお送りします。

Resources

全国美術館収蔵品 サーチ「SHŪZŌ」

日本国内の登録博物館、博物館相当施設等が収蔵する美術品の検索システムです。日本近現代の美術品を中心に、今後情報の拡充を進めます。

作家情報

SHŪZŌに作品が収蔵されている作家を中心とした作家に関する情報

文献資料

日本近現代美術に関する基礎資料

日本現代アートの国際的な研究喚起のために、主に戦後美術を対象とした未英訳の文献(単行本、評論、学術論文、カタログ寄稿文等)をテーマ別に選定し、英訳したものを公開しています。すでに英訳がある文献は転載し、英訳対象に選ばれなかったものの重要である文献はリーディングリストとして公開いたします。

新訳文献

これまでに英訳されなかった文献のAPJによる新訳公開

論文掲載

公開可能な論文のリストを掲載しています

作家一覧

SHŪZŌに掲載されている作家のリストを掲載しています

文化遺産オンライン

Cultural Heritage Online

文化遺産オンラインは、文化庁が運営する我が国の文化遺産についてのポータルサイトです。全国の博物館・美術館等から提供された作品や国宝・重要文化財など、さまざまな情報をご覧いただけます。

日本列島
タイムマシンナビ
Time Machine Navi
ビューアで見る

海鏡

作品一覧

Collection List

カテゴリで見る

Gallery

世界遺産と無形文化遺産

World Heritage and
Intangible Cultural Heritage

全国の美術館・博物館

Museum List

一般社団法人

全国美術館会議 The Japanese Council of Art Museums

HOME

全国美術館会議について

活動内容

印刷物等

キャビネット



一般社団法人 全国美術館会議

東京都千代田区一番町6-3-103

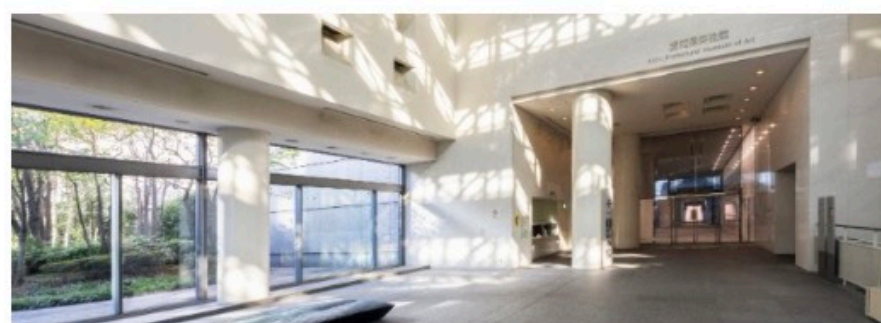
Webサイトを開く



一般社団法人全国美術館会議は、美術館の使命の実現を支え、その活動を社会的にしっかり根付かせるため、総会、総会記

一般社団法人全国美術館会議は、美術館の使命の実現を支え、その活動を社会的にしっかり根付かせるため、総会、総会記念フォーラム、講演会、学芸員研修会、研究部会等を毎年開催し、その成果を正会員(会員館)や広く美術関係者、また、一般の方々と共有しようと考えています。日本の美術館がともに考え、ともに行動することをめざして、1952(昭和27)年に設立された当会議は、2020年4月1日をもって一般社団法人に設立登記し、450以上の会員(正会員、個人会員及び賛助会員)で構成されています。

全国美術館会議をつなぎ役としてジャパンサーチと連携している美術館



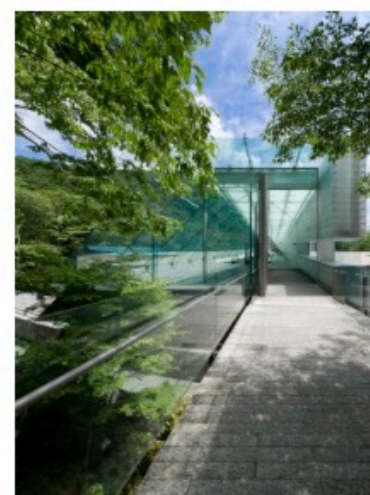
愛知県美術館

愛知県名古屋市の中心部、栄に1955年に開館した「愛知県文化会館美術館」を前身とする愛知県美術館は、都市型の複合的な文化施設である愛知芸術文化センターの中の美術館として



東京富士美術館

東京富士美術館は、1983年11月3日に東京西郊の学園都市・八王子にオープンしました。「世界を語る美術館」をモットーに、世界31カ国・1地域の美術館や文化機関との友好関係を築き



公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館

2002年9月、「箱根の自然と美術の共生」のコンセプトのもとに、富士箱根伊豆国立公園内の豊かな自然に恵まれた箱根仙石原に開館した美術館。



大阪市立東洋陶磁美術館

大阪市立東洋陶磁美術館は、世界的に有名な「安宅コレクション」を住友グループ21社から寄贈されたことを記念して大阪市が設立したもので、1982年11月に開館しました。館藏品



連携データベース一覧

愛知県名古屋市の中心部、栄に1955年に開館した「愛知県文化会館美術館」を前身とする愛知県美術館は、都市型の複合的な文化施設である愛知芸術文化センターの中の美術館として



東京富士美術館は、1983年11月3日に東京西郊の学園都市・八王子にオープンしました。「世界を語る美術館」をモットーに、世界31カ国・1地域の美術館や文化機関との友好関係を築き



ポーラ美術館

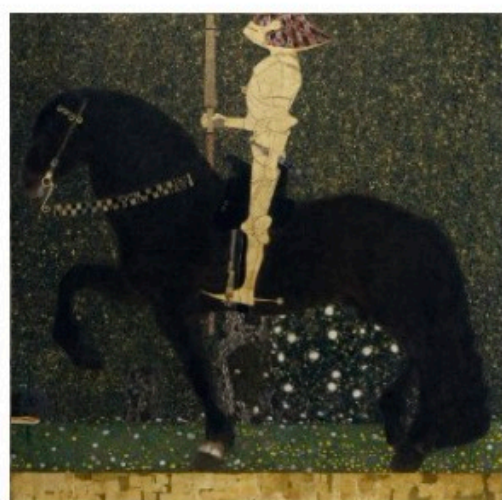
2002年9月、「箱根の自然と美術の共生」のコンセプトのもとに、富士箱根伊豆国立公園内の豊かな自然に恵まれた箱根仙石原に開館した美術館。



大阪市立東洋陶磁美術館は、世界的に有名な「安宅コレクション」を住友グループ21社から寄贈されたことを記念して大阪市が設立したもので、1982年11月に開館しました。館蔵品



連携データベース一覧



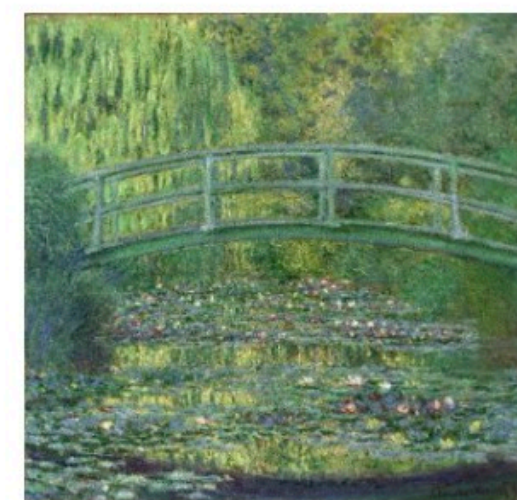
愛知県美術館コレクション

当館のコレクションで特に充実しているのは、国内外の20世紀美術です。世紀前半にヨーロッパで活躍したグスタフ・クリムト、パブロ・ピカソ、ピエール・ボナール、マックス・エルンス



東京富士美術館収蔵品データベース

日本・東洋・西洋の各国、各時代の絵画・版画・写真・彫刻・陶磁・漆工・武器・刀剣・メダルなど様々なジャンルの作品約30,000点の内、約1,800点を



ポーラ美術館コレクション

ポーラ美術館は、2002年に神奈川県箱根町に開館いたしました。ポーラ美術館のコレクションは、ポーラ創業家2代目の鈴木常司が40数年間にわたり収集したもので、西洋絵画、日本



大阪市立東洋陶磁美術館 収蔵品検索

大阪市立東洋陶磁美術館が所蔵する国宝2件、重要文化財13件をはじめとした代表的な作品172件(中国陶磁、韓国陶磁、日本陶磁)を検索し、作品情



大阪市立東洋陶磁美術館収蔵品画像オープンデータ

「大阪市立東洋陶磁美術館収蔵品画像オープンデータ」で公開している画像は、当館への申請が必要なく、自由にダウンロード、複製、再配布すること



全国美術館会議横断検索

全国美術館会議をつなぎ役としてジャパンサーチ連携している美術館のコレクションを横断検索できます

コレクション



灰陶加彩雲気文尊

東京富士美術館

奩(れん)ともいうが、奩は鏡箱を指す呼称である。これは酒を入れる器であり、



赤地金彩孔雀文仙盞瓶

東京富士美術館

扁平な洋梨形の胴部に、細長い頸部を持つ仙盞瓶。長い注口と扁平な把手が付



秋景山水図

愛知県美術館

鑑画会における有力画家であった雅邦による本作品は、明治初期における新美術



八代目市川團十郎の白井権八 五代目沢村宗十郎の白柄十右衛門

東京富士美術館



妄/14 謝肉祭の妄

東京富士美術館



加彩武人

東京富士美術館

俑は秦、漢、南北朝時代で構成は変化していく。秦時代は屈強な兵士と将軍、漢時



金銅燕

愛知県美術館



山水図

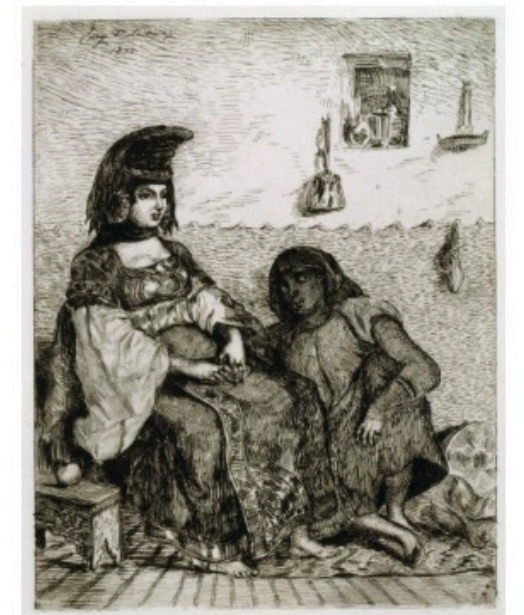
東京富士美術館

橋が架けられた山深い渓谷と崖沿いにある集落が見える。橋上には集落を目指す



蜻蛉文箱

愛知県美術館



アルジェのユダヤ人(タンジールのユダヤ人花嫁)

東京富士美術館

ドラクロワは、1832年前半の北アフリカ





大阪市立東洋陶磁美術館 収蔵 品検索

大阪市立東洋陶磁美術館が所蔵する
国宝2件、重要文化財13件をはじめと
した代表的な作品172件(中国陶磁、
韓国陶磁、日本陶磁)を検索し、作品情



大阪市立東洋陶磁美術館収蔵品 画像オープンデータ

「大阪市立東洋陶磁美術館収蔵品画像
オープンデータ」で公開している画像
は、当館への申請が必要なく、自由に
ダウンロード、複製、再配布すること



一般社団法人

全国美術館会議 The Japanese Council of Art Museums

HOME | 全国美術館会議について | 活動内容 | 印刷物等 | キャビネット



一般社団法人 全国美術館会議

東京都千代田区一番町6-3-103

Webサイトを開く



一般社団法人全国美術館会議は、美術館の使命の実現を支え、その活動を社会的にしっかり根付かせるため、総会、総会記

東京富士美術館
収蔵品データベース

作家ID B010

HP公開

公開 準備中 待機 非開示 有 無
著作権有無

記入例：A001
クレジット・ライン

東京富士美術館イメージアーカイブ/DNP artcorr

ブリッジマン・アート・ライブラリー

Googleアートプロジェクト

文化遺産オンライン

Google Art project URL

https://www.google.

com/culturalinstitute/beta/asset/eQGscqepn7RMjQ?hl



☒ 原寸スキャン画像 (ニューリー社、msca)

作家名 (よみ・名称・欧文) ※登録時作家名：クロード・モネ

もね、くろーど
モネ、クロード

原 MONET, Claude

作家名2 (名称・欧文) ※書き出し用メタデータ

クロード・モネ

Claude Monet

国籍

フランス

French

作家生没年

日 1840-1926

英 1840-1926

員数

数字

1

記入例：1449頃-1494、工房作は生没年数値のみ入力 (テキスト空欄)

1802-1852、作画期：文政4 (1821) - 嘉永2 (1849)

18世紀 (活躍期1761-1771)

享和3 (1802) - 嘉永6 (1853)

years as an artist; 1764-1789

生没年不詳

1840 ~ 1926

形質・技法 (和文・英文)

日 油彩、カンヴァス

英 Oil on canvas

制作年 (よみ・日・英)

日 1908年

英 1908

NDL_奥村牧人 丹田敦 河原健一郎 松原恵 鴨木年泰

美術館の収蔵作品情報連携

— 連携事例報告 —

報告者：鴨木 年泰
全国美術館会議 情報・資料研究部会 幹事
東京富士美術館 学芸係長

0:03 / 14:08 · チャプター →

「連携事例報告⑤全国美術館会議」 (鴨木 年泰氏)

57回視聴 2022/04/18 ...もっと見る

👍 0 👎 低評価 🔗 共有 📄 オフライン 📌 クリップ ...

JAPAN SEARCH公式チャンネル
チャンネル登録者数 353人 チャンネル登録

コメント 年泰 コメントを追加... >


JAPAN SEARCH公式チャンネル
チャンネル登録者数 323人 チャンネル登録

コメント 年泰 コメントを追加... >



<https://youtu.be/ezFrPSS73MA>



 TOKYO FUJI ART MUSEUM

COLLECTIONS



収蔵品



ホーム

収蔵品

作品詳細

作品詳細



睡蓮

Water Lilies

1808年

作品詳細



睡蓮

Water Lilies

1908年

油彩、カンヴァス

101.0×90.0cm




228



1890年代のモネは、〈積み藁〉、〈ポプラ並木〉、ルーアンの〈大聖堂〉、そして〈セーヌ河の朝〉といった連作に意欲的に取り組む。そして晩年のモネがジヴェルニーの自宅の日本庭園の池を舞台に、睡蓮そのものを描くようになったのは1897年のことである。この最初の睡蓮の連作は8点描かれ、1902年には〈睡蓮〉連作に本格的に取り組めるようになった。以後、花の庭園を見下ろす寝室で肺硬化症で亡くなる1926年までの間に、彼はジヴェルニーの庭と池を描いた作品を300点以上も残す。しかもそ



Google Arts & Culture

超高画質画像 

音声ガイド 

収蔵品画像ダウンロード

当館HPに掲載の収蔵品画像はご自由にご利用いただけます。
高画質画像については[収蔵品画像貸出サービス](#)をご利用ください。

1890年代のモネは、〈積み藁〉、〈ポプラ並木〉、ルーアンの〈大聖堂〉、そして〈セーヌ河の朝〉といった連作に意欲的に取り組む。そして晩年のモネがジヴェルニーの自宅の日本庭園の池を舞台に、睡蓮そのものを描くようになったのは1897年のことである。この最初の睡蓮の連作は8点描かれ、1902年には〈睡蓮〉連作に本格的に取り組めるようになった。以後、花の庭園を見下ろす寝室で肺硬化症で亡くなる1926年までの間に、彼はジヴェルニーの庭と池を描いた作品を300点以上も残す。しかもそのほとんどが、モネが70歳を過ぎてから86歳にかけて制作されている。

本作はモネが68歳の1908年に描かれた15点の連作の1点で、他の連作47点とともに翌年5月、パリのデュラン＝リュエル画廊における「睡蓮一水の風景連作」と題する個展に出品された。

1906年頃から時折試みていたことであるが、ここでモネは明暗の差を極力抑え、ロココ的ともいえる繊細で優美な色彩と装飾性を見せている。膨大な睡蓮の作品全体の中で、最も軽快な作風である。

モネは、睡蓮に魅せられた理由のひとつをこう説明している。

「そのイメージは無限の感覚を呼び覚ます。宇宙を構成する諸要素と、われわれの眼前で刻一刻と変わってゆく宇宙の不安定さとが、まるで小宇宙のようにそこに存在している」よく指摘されるように、水面の一部を切り取り、クローズアップして描く方法は、「一部を描いて全体を表わす」という日本の浮世絵版画に見られるような暗示的な手法といえる。モネが、浮世絵版画から

「視点」と「表現」を学んだことは間違いなく、それは今日モネ美術館となっている彼の住居の壁に掛かる200余点に及びエッセ

ARTIST

クロード・モネ

Claude Monet(1840-1926)

フランスの画家。印象派の代表的画家。1872年に制作した《印象—日の出》は、第1回印象派展（1874年）に出品され、このグループの名称の由来となった。1883年、ジヴェルニーに移住。《積み藁》《ルーアン大聖堂》などのシリーズによって、自然の対象が時間や季節の推移につれて変化する一瞬の様子を捉えた作品を次々と発表。特に晩年、自邸の睡蓮の池を描き続け、対象の形態を超えて光の変幻の色彩化を試みた連作は、つとに有名である。

出品歴



2022年3月19日（土）～5月8日（日）
 ヨーロッパ絵画 美の400年—珠玉の東京富士美術館コレクション
 佐賀県立美術館（佐賀、佐賀市）

2021年10月23日（土）～12月26日（日）
 名画でたどる西洋絵画400年—珠玉の東京富士美術館コレクション
 栃木県立美術館（栃木、宇都宮市）

2021年10月15日（金）～2022年1月16日（日）
 特別展示「睡蓮：水の風景連作」 三菱一号館美術館（東京、千代田区）

2021年7月9日（金）～8月29日（日）

来歴

Provenance:

acheté à Monet par Durand-Ruel et Bernheim-Jeune en mars 1913 et vendu à Bernheim –Jene en 1920
 Mrs.Potter Palme , Chicago
 Honoré Palmer, Chicago
 Légué à l'Art Institute de Chicago en 1949
 Mr and Mrs Edmund W. Mudge Jr. Dallas, c.1949
 vente Edmund W. Mudge, New York, Parke Bernet,28 octobre 1970, n° .23 (Forbes)
 vente, Londres , Christie, 2 juillet 1974 ,n° 65 (Yamamoto)
 P.A, Japon, 1981

Exhibited :

Paris, Durand-Ruel, Monet, Nymphéas, 1909, no.41
 Paris, Bernheim-Jeune, Paysages impressionistes, 1920,

2015年10月8日（木）～2016年2月21日（日）
日本が愛した印象派—モネからルノワールへ ドイツ連邦共和国
美術展示館（ドイツ、ボン）

2014年7月18日（金）～8月31日（日）
西洋近代絵画と松方コレクション 鹿児島市立美術館（鹿児島、
鹿児島市）

2014年3月11日（火）～5月11日（日）
光の賛歌 印象派展 —パリ、セーヌ、ノルマンディの水辺をた
どる旅 京都文化博物館（京都、京都市）

2014年1月15日（水）～3月2日（日）
光の賛歌 印象派展 —パリ、セーヌ、ノルマンディの水辺をた
どる旅 福岡市博物館（福岡、福岡市）

2013年5月10日（金）～9月8日（日）
モネの庭園 ヴィクトリア国立美術館（オーストラリア、メルボ
ルン）

2011年7月9日（土）～10月10日（月）
光を描く 印象派展—美術館が解いた謎— 青森県立美術館（青
森、青森市）

2010年12月7日（火）～2011年2月17日（木）
モネとジヴェルニーの画家たち Bunkamura ザ・ミュージアム
（東京、渋谷区）

1994年2月11日（金）～4月7日（木）
モネ展 ブリヂストン美術館（東京、中央区）

1992年10月16日（金）～11月5日（木）
西洋絵画名作展—ルネサンスから印象派、20世紀の絵画 中国
美術館（中国、北京）

1990年11月3日（土）～12月2日（日）
西洋絵画名品展 湖巖美術館（韓国、京畿道龍仁郡）

1990年9月22日（土）～10月21日（日）
西洋絵画名品展 中央日報・湖巖ギャラリー（韓国、ソウル）

参考文献

Letters n.1885, 1887, 1888, 2058 et 2059

L. Venturi, Archives..., 1939, t.I, pp.421-422, 437

D. Rouart, J.D. Rey et R. Maillard, 1972, p.165 (ill.).

D. Wildenstein, Claude Monet: Biographie et catalogue raisonné, Lausanne-Paris, 1979, vol.IV, p.230, n.1731 (illustrated)



Google Arts & Culture

超高画質画像 

音声ガイド 

収蔵品画像ダウンロード

当館HPに掲載の収蔵品画像はご自由にご利用いただけます。
高画質画像については[収蔵品画像貸出サービス](#)をご利用ください。

 いいね!

228

 ランキングページへ

1890年代のモネは、〈積み藁〉、〈ポプラ並木〉、ルーアンの〈大聖堂〉、そして〈セーヌ河の朝〉といった連作に意欲的に取り組む。そして晩年のモネがジヴェルニーの自宅の日本庭園の池を舞台に、睡蓮そのものを描くようになったのは1897年のことである。この最初の睡蓮の連作は8点描かれ、1902年には〈睡蓮〉連作に本格的に取り組めるようになった。以後、花の庭園を見下ろす寝室で肺硬化症で亡くなる1926年までの間に、彼はジヴェルニーの庭と池を描いた作品を300点以上も残す。しかもそのほとんどが、モネが70歳を過ぎてから86歳にかけて制作されている。

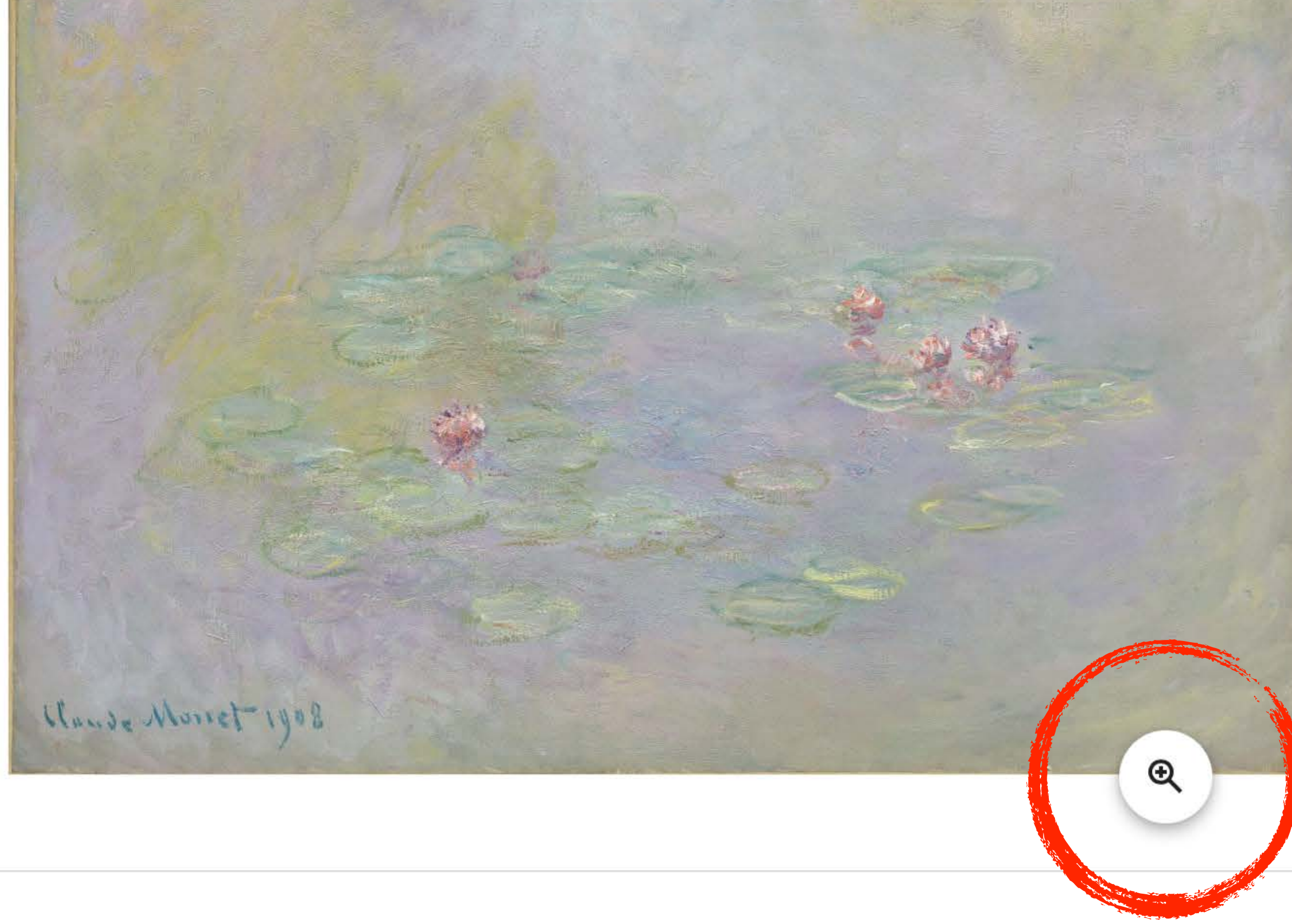
本作はモネが68歳の1908年に描かれた15点の連作の1点で、他の連作47点とともに翌年5月、パリのデュラン＝リュエル画廊における「睡蓮一水の風景連作」と題する個展に出品された。

1906年頃から時折試みていたことであるが、ここでモネは明暗の差を極力抑え、ロココ的ともいえる繊細で優美な色彩と装飾性を見せている。膨大な睡蓮の作品全体の中で、最も軽快な作風である。

モネは、睡蓮に魅せられた理由のひとつをこう説明している。

「そのイメージは無限の感覚を呼び覚ます。宇宙を構成する諸要素と、われわれの眼前で刻一刻と変わってゆく宇宙の不安定さとが、まるで小宇宙のようにそこに存在している」よく指摘されるように、水面の一部を切り取り、クローズアップして描く方法





睡蓮

クロード・モネ 1908



AR (拡張現実) で見る



ストリートビューで表示

TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館

公益財団法人 東京富士美術館
東京都, 日本

1890年代のモネは、〈積み藁〉、〈ポプラ並木〉、ルーアンの〈大聖堂〉、そして〈セーヌ河の朝〉といった連作に意欲的に取り組む。そして晩年のモネがジヴェルニーの自宅の日本庭園の池を舞台に、睡蓮そのものを描くようになったのは1897年のことである。この最初の睡蓮の連作は8点描かれ、1902年には〈睡蓮〉連作に本格的に取り組めるようになった。以後、花の庭園を見下ろす寝室で肺硬化症で亡くなる1926年までの間に、彼はジヴェルニーの庭と池を描いた作品を300点以上も残す。しかもそのほとんどが、モネが70歳を過ぎてから86歳にかけて制作されて

モネは、睡蓮に魅せられた理由のひとつをこう説明している。「そのイメージは無限の感覚を呼び覚ます。宇宙を構成する諸要素と、われわれの眼前で刻一刻と変わってゆく宇宙の不安定さとが、まるで小宇宙のようにそこに存在している」よく指摘されるように、水面の一部を切り取り、クローズアップして描く方法は、「一部を描いて全体を表わす」という日本の浮世絵版画に見られるような暗示的な手法といえる。モネが、浮世絵版画から「視点」と「表現」を学んだことは間違いなく、それは今日モネ美術館となっている彼の住居の壁に掛かる200余点に及ぶモ





Google Arts & Culture

超高画質画像 

音声ガイド 

収蔵品画像ダウンロード

当館HPに掲載の収蔵品画像はご自由にご利用いただけます。
高画質画像については収蔵品画像貸出サービスをご利用ください。

睡蓮

Water Lilies

1908年

油彩、カンヴァス

101.0×90.0cm



いいね!

227



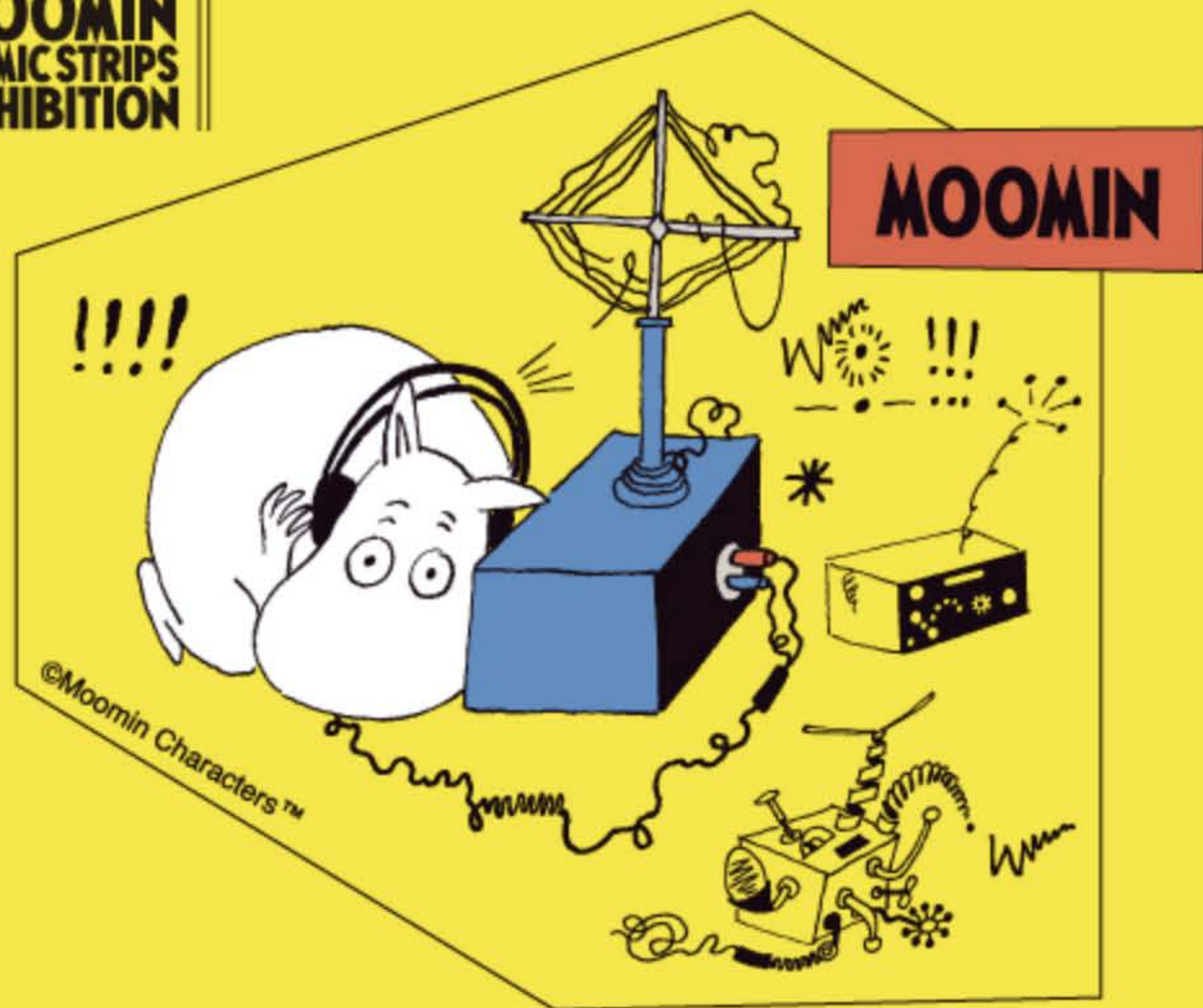
ランキングページへ

1890年代のモネは、〈積み藁〉、〈ポプラ並木〉、ルーアンの〈大聖堂〉、そして〈セーヌ河の朝〉といった連作に意欲的に取り組む。そして晩年のモネがジヴェルニーの自宅の日本庭園の池を舞台に、睡蓮そのものを描くようになったのは1897年のことである。この最初の睡蓮の連作は8点描かれ、1902年には〈睡蓮〉連作に本格的に取り組むようになった。以後、花の庭園を見下ろす寝室で肺硬化症で亡くなる1926年までの間に、彼はジヴェルニーの庭と池を描いた作品を300点以上も残す。しかもそのほとんどが、モネが70歳を過ぎてから86歳にかけて制作されている。

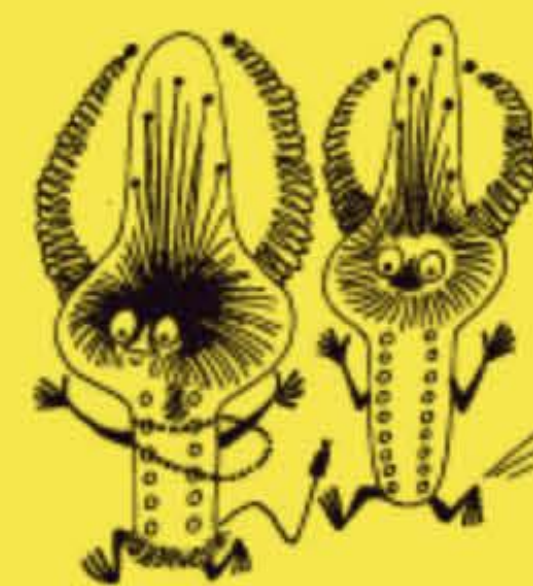
本作はモネが68歳の1908年に描かれた15点の連作の1点で、他の連作47点とともに翌年5月、パリのデュラン＝リュエル画廊における「睡蓮一水の風景連作」と題する個展に出品された。

1906年頃から時折試みていたことであるが、ここでモネは明暗の差を極力抑え、ロココ的ともいえる繊細で優美な色彩と装飾性を見せている。膨大な睡蓮の作品全体の中で、最も軽快な作風である。

MOOMIN
COMIC STRIPS
EXHIBITION



ムーミン コミックス展



日本初公開！マンガ原画やスケッチ、約 280 点を一堂に

2022 **6/18**(土) ~ **8/28**(日)

休館日：月曜日 ※7/18(月祝)は開館、7/19(火)は休館

開館時間：10:00 ~ 17:00 (16:30 受付終了) 開館時間を変更する場合があります

> 1 2 3 4 5 6 7



左上から 歌川広重《名所江戸百景 水道橋駿河台》部分 安政4年 / 柳斎雪春《御名残 二代目市川白猿の冷水うり》部分 文政12年 / 鈴木其一《風神雷神図襖》部分 江戸時代後期 / 景徳鎮窯《五彩魚藻文面盆》

おうちミュージアム ONLINE EXHIBITION

PC・タブレット
スマートフォンから

館蔵品展

- 中国陶磁名品展 (2014年)
- とことんみせます! 富士美の浮世絵 (2015年)
- ザ★刀剣—千年の匠の技と美 (2016年)
- マネの銅版画コレクション (2019年)
- THIS IS JAPAN IN TOKYO (2020年)
- 西洋版画の魅力 (2021年)
- 旅路の風景—北斎、広重、吉田博、川瀬巴水— (2022年)

オンラインで館蔵品展の名作を。

TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館

当館は設備改修工事のため全館休館いたします。休館中は、当館が所蔵作品情報を連携するウェブサイト「ジャパンサーチ」上でオンライン展覧会をお楽しみください。右のQRコードからPC、タブレット、スマートフォン等でご覧いただけます。



設備改修工事のため
全館休館中
2022 9月 ▶ 2023 7月上旬

※ジャパンサーチは国立国会図書館がシステムを運用する日本の様々な分野のコンテンツを検索・閲覧・活用できるプラットフォームです。
※「おうちミュージアム」とは、北海道博物館が2020年に提唱し、全国240以上のミュージアムが参加しているオンラインプログラムです。
※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です

ONLINE EX



オンラインで館蔵品展の

当館は設備改修工事のため全館休館いたします。
休館中は、当館が所蔵作品情報を連携するウェブ
サイト「ジャパンサーチ」上でオンライン展覧会
をお楽しみください。右のQRコードからPC、タ
ブレット、スマートフォン等でご覧いただけます。

※ジャパンサーチは国立国会図書館がシステムを運用する日本の様々な分野のコンテンツを検索・閲覧・活用できるプラットフォームです。

※「おうちミュージアム」とは、北海道博物館が2020年に提唱し、全国240以上のミュージアムが参加しているオンラインプログラムです。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です



中国陶磁名品展 (2014年)

とことんみせます! 富士美の浮世絵 (2015年)

ザ★刀剣—千年の匠の技と美 (2016年)

マネの銅版画コレクション (2019年)

THIS IS JAPAN IN TOKYO (2020年)

西洋版画の魅力 (2021年)

旅路の風景—北斎、広重、吉田博、川瀬巴水— (2022年)

館蔵品展

します。
ウェブ
展覧会
PC、タ
ナます。

ットフォームです。
ンプログラムです。



設備

全館

2022

9

〒192-0016 東

HP : www.fujibi.com

Twitter : @tokyof

左上から 歌川広重《名所江戸百景 水道橋駿河台》部分 安政4年 / 柳斎菴春《御名残 二代目市川白猿の冷水うり》部分 文政12年 / 鈴木其一《風神雷神図横》部分 江戸時代後期 / 景徳鎮窯《五彩魚藻文面盆》

おうちミュージアム

PC・タブレット
スマートフォンから



中国陶磁名品展 (2014年)

とことんみせます! 富士美の浮世絵 (2015年)

ザ★刀剣—千年の匠の技と美 (2016年)

マネの銅版画コレクション (2019年)

THIS IS JAPAN IN TOKYO (2020年)

西洋版画の魅力 (2021年)

旅路の風景—北斎、広重、吉田博、川瀬巴水— (2022年)

館蔵品展

ONLINE EXHIBITION

オンラインで館蔵品展の名作を。

TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館

当館は設備改修工事のため全館休館いたします。休館中は、当館が所蔵作品情報を連携するウェブサイト「ジャパンサーチ」上でオンライン展覧会をお楽しみください。右のQRコードからPC、タブレット、スマートフォン等でご覧いただけます。



※ジャパンサーチは国立国会図書館がシステムを運用する日本の様々な分野のコンテンツを検索・閲覧・活用できるプラットフォームです。
※「おうちミュージアム」とは、北海道博物館が2020年に提唱し、全国240以上のミュージアムが参加しているオンラインプログラムです。
※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です

設備改修工事のため

全館休館中

2022 9月 ▶ 2023 7月上旬

〒192-0016 東京都八王子市谷野町492-1 TEL 042-691-4511
HP: www.fujibi.or.jp Facebook: www.facebook.com/fujibi
Twitter: @tokyofujibi Instagram: tokyofujibi LINE: lin.ee/kMOQ6yn



東京富士美術館

東京都八王子市谷野町492-1

[Webサイトを開く](#)

オンライン展覧会

東京富士美術館の収蔵品によるオンライン展覧会(デジタル展覧会)をお楽しみください。



魅せられチャイナ!? 中国陶磁名品展 オンライン展覧会

東京富士美術館で2014年1月12日から3月30日まで開催された企画展「中国陶磁名品展」のオンライン展覧会です。



ザ★刀剣 — 千年の匠の技と美 オンライン展覧会

東京富士美術館で2016年3月29日から7月3日まで開催された企画展「ザ★刀剣 — 千年の匠の技と美」展のオンライン展覧会です。



マネの銅版画コレクション オンライン展覧会

東京富士美術館で2019年10月5日から2020年1月19日まで開催された企画展「マネの銅版画コレクション」展のオン

**THIS IS JAPAN
IN TOKYO**

東京富士美術館所蔵
永遠の日本美術の名宝
From the Tokyo Fuji Art Museum Collection
THIS IS JAPAN IN TOKYO—Eternal Treasures of Japanese Art

若冲、蕭白、北斎、広重大集合！
浮世絵から日本刀まで

2020
9/1 → **11/29**
※一部作品、会期中(10/19)に展示替えあり

開館時間：10:00-17:00
(16:30 受付終了)
休館日：月曜日
祝日の場合は開館。翌日火曜日が代替休館
※9/21(月)・9/22(火)・11/23(月)は開館、
9/23(水)・11/24(火)は休館

第36巻
神楽川沖波(部分)/東館北斎
天保1-天保3年(1830-32)頃

THIS IS JAPAN IN TOKYO /

THIS IS JAPAN IN TOKYO ～永遠の日本美術の名宝～ オンライン展覧会

でいす いず じゃぱん いん とーきょー えいえんのほんびじゅつのめいほう おんらいんてんらんかい

東京富士美術館で2020年9月1日から11月29日まで開催された企画展「THIS IS JAPAN IN TOKYO ～永遠の日本美術の名宝～」展のオンライン展覧会です。

ごあいさつ

2019年9月、ICOM(国際博物館会議)京都大会を記念して、東京富士美術館が所蔵する日本美術の名品から選りすぐった「百花繚乱 ニッポン×ビジュツ」展が、京都文化博物館にて開催され、京都を訪れた訪日外国人をはじめ、多くの来館者から好評を博しました。本展はその里帰り展となるものです。

当館が所蔵する日本美術作品は、平安時代から近現代に至る多様な分野にわたっています。本展では千年の歴史の中で育まれてきた日本文化の豊穡な芸術世界のエッセンスをコンパクトにわかりやすく楽しむことができるように「キモカワ」「サムライ」「デザイン」「黄金」「四季」「富士山」など日本美術を特色付けるキーワードを通し、ニッポンのビジュツを俯瞰的に横断します。絵画、浮世絵版画、漆工、刀剣、武具甲冑などの多様な分野におよぶ93点の名品を通して、日本の歴史と文化の多様性について理解していただけるとともに、日本美術の豊かさに触れる絶好の機会となるでしょう。

本展は、東京富士美術館がこれまで世界各国の政府・文化機関等の要請を受けて、海外15カ国1地域で24回にわたり開催してきた、当館所蔵日本美術の名宝展の集大成ともいえる展覧会です。来館者の皆さまにとって本展が、日本の歴史と文化の多様性や、日本美術の豊かさに触れる機会となれば幸いです。

展覧会紹介映像(YouTube)



ていじり回すの意)を踏まえたものである。



相馬の古内裏

山東京伝の読本『善知安方忠義伝』に取材した本図は、国芳の代表作の1点。相馬の古内裏は、相馬小次郎こと平将門が下総国に建てた屋敷で、将門の乱の際に荒れ果ててしまっていた廃屋。妖術を授かった将門の遺児滝夜叉姫と良門は、父の遺志を継いでこの廃屋に仲間を募り、やがて妖怪が出没ようになる。それを知った源頼信の家臣、大宅太郎光国は妖怪を退治してその陰謀を阻止する。原作では複数の骸骨が現れるが、国芳はこれを巨大な一体の骸骨に置き換えることによって、迫力あ



里すゞめねぐらの仮宿

天保の改革によって役者絵や遊女に関わる絵が禁止され、浮世絵界は大打撃を受けたが、国芳は役者や遊女を動物に見立てて描き、その規制をかいくぐり、ユーモア溢れる世界を創出した。本図は吉原の格子先の賑わいが題材となっている。弘化2年(1845)の暮れ、吉原が火災に遭い、仮宅(吉原以外の仮の営業所)での営業を余儀なくされた模様を取り上げているが、先の理由で、登場人物全てを雀の姿に見立てて描いたのが本図である。

堂や別荘で中流階級の子弟に習わせ、その習得を定規に準じて行なった。このように御家人たちに武芸の披露を行わせた。その後、海上に船を浮かべて酒を振舞っていた時に、泳ぎの名人との評判が高かった義秀にその技を披露するように命じた。そこで義秀は見事な泳ぎを見せた挙句、海中に潜ると生きた鮫を3匹捕まえて浮上してきた。驚いた船上の人々は義秀を喝采で迎えた。鮫はここでは鰐として表現されている。この鰐は、江戸時代後期の蘭学者、森島中良が著した『紅毛雑話』(天明7年(1787)刊行)に掲載されている「カイマン」の図をもとに描かれており、その後も同じく国芳の「讃岐院眷属をして為朝をすくふ図」(嘉永4年(1851))にも鰐鮫として登場する。



みかけハこハみがとんだいゝ人だ

戯画のうち「寄せ絵」と呼ばれるもので、人間の目、鼻、口から眉毛、丁髷にいたるまで、そしておそらくは着物の中の身体つきについても、さまざまな姿態の人間を組み合わせるというユニークな趣向に富んだ作品。西洋の画家・アルチンボルトが植物や果物などを使い、同じ手法で人体を表現する試みをしているが、両者の関係性については定かでない。また着物の文様から鎌倉時代の武将・朝比奈義秀の関係性も取り沙汰されている。

デザイン × 日本美術 "Rimpa" Design Japan

俵屋宗達に始まり、尾形光琳が発展させ、酒井抱一や鈴木其一に代表される「琳派」の絵師。彼らの活動は、直接の師弟関係によらず江戸時代を横断し、京都から江戸へ広がり、絵画や工芸をまたぐという既成の流派の概念に収まらないものでした。宗達、光琳、抱一、其一と描き継がれた風神雷神図、其一は抱一までの二曲一双で並び立つ二神を、大胆に襖四面の広大な空間の表裏に描き分けます。斬新な発想力に由来する独自の造形＝デザインに彼らの真骨頂があります。



白菊図屏風

垣根の周囲を覆い尽くすように咲き誇った大ぶりの白菊に花の持つ強い生命力を感じる。六曲一双という金地の大画面に白菊と垣根、土坡、水流のみを描く豪快な表現様式は桃山時代全体の障屏画における大きな特長といえる。中でも自然そのものが持つ美しさを単純かつ明快に表現した大らかな作風は長谷川派のそれに近いものを感じさせる。垣根や水流に変化を持たせながら、主題である白菊の端正な美しさを目事に伝えた桃山障屏画



松桜図屏風

画面を対角線で区切るように夥しいまでの松の緑の塊が連なり、左上方の金地空間と鮮やかな拮抗をなす斬新で奇抜な構図。松といえば養源院の《松図襖》が有名であるが、本作では松の葉をより簡略化して描いている。松の樹間には宗達がモチーフとして採用した榎や檜も描かれており、宗達作品を想起させる。右上部の八重桜は、独特の盛り上げ彩色による厚みを備え、松葉の群れに負けじと咲き誇って、画面にひとときわ興趣を添



波濤図屏風

比較的小さな寸法に仕立てられた八曲一隻の屏風。画面右下に「対青印」らしき朱文円印があるが、にわかには判読しがたい。本作では俵屋宗達・尾形光琳の双方が描いた《松島図》にも見られる波頭の図案が簡潔にリズムよく描かれ、波の躍動感を伝えている。波形の描写は波の外側にだけ濃い群青色を引き輪郭を際立たせ、波頭部に胡粉で白を着彩し、飛沫や波のうねりの部分に金泥の線で調子をつけて仕上げている

オンライン展覧会

東京富士美術館の収蔵品によるオンライン展覧会(デジタル展覧会)をお楽しみください。



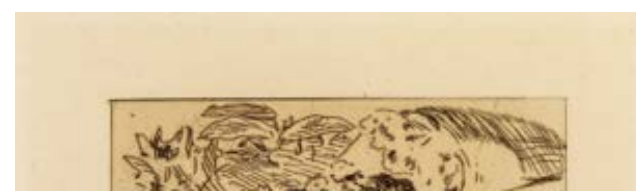
魅せられチャイナ!? 中国陶磁名品展 オンライン展覧会

東京富士美術館で2014年1月12日から3月30日まで開催された企画展「中国陶磁名品展」のオンライン展覧会です。



ザ★刀剣 — 千年の匠の技と美 オンライン展覧会

東京富士美術館で2016年3月29日から7月3日まで開催された企画展「ザ★刀剣 — 千年の匠の技と美」展のオンライン展覧会です。



マネの銅版画コレクション オンライン展覧会

東京富士美術館で2019年10月5日から2020年1月10日まで

収蔵品紹介

東京富士美術館の代表的な収蔵品を紹介します。

15～17世紀コレクション



行政長官の肖像

ジョヴァンニ・ベッリーニ, Giovanni Bellini



蒐集家の肖像

ティントレット (ヤコポ・ロブステイ), Tintoretto (Jacopo Robusti)



農民の結婚式

ピーテル・ブリューゲル(子), Pieter Brueghel the Younger

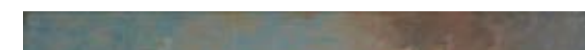
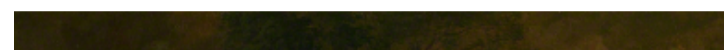


ベッドフォード伯爵夫人 アン・カーの肖像

アントニー・ヴァン・ダイク, Anthony



18世紀コレクション



書斎のドン・キホーテ

ウジェーヌ・ドラクロワ,Eugène Delacroix



ヘレヴーツリュイスから出航するユトレヒトシティ64号

ジョセフ・マラード・ウィリアム・ター



漁師の娘

ウィリアム・アドルフ・ブーグロ
ー,William Adolphe Bouguereau



鏡の前の装い

ジュール・ジェーム・ルージュロ
ン,Jules James Rougeron



バルビゾン派&印象派



鶯鳥番の少女

ジャン=フランソワ・ミレー,Jean-François Millet



テラスにて

ベルト・モリゾ,Berthe Morisot
東京富士美術館



散歩(ガンビー夫人)

エドゥアール・マネ,Édouard Manet
東京富士美術館



鋤仕事をする農婦のいる家

フィンセント・ファン・ゴッ
ホ,Vincent van Gogh



20世紀コレクション

白磁象形燭台

東京富士美術館

類例の少ない作品である。本体を象の形に作り、背に(木)の筒型の口出し



三彩貼花宝相華文水注

東京富士美術館

大きな宝相華文の貼花が器に飾られた水注。地には華翫が全体に描かれ



[重要美術品] 白地鉄絵牡丹文梅瓶

磁州窯,Ci-zhou Ware



青花魚藻文酒会壺

景德鎮窯,Jing-de-zhen Ware

東京富士美術館



書跡コレクション



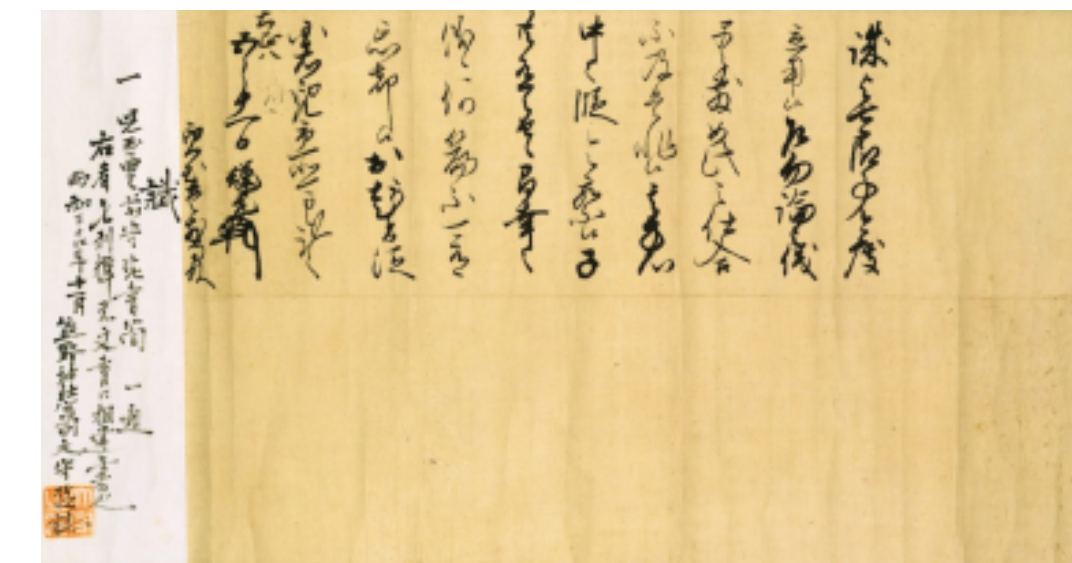
[重要文化財] 相模集

藤原定家 奥書,Postscript by Fujiwara no Sadaie



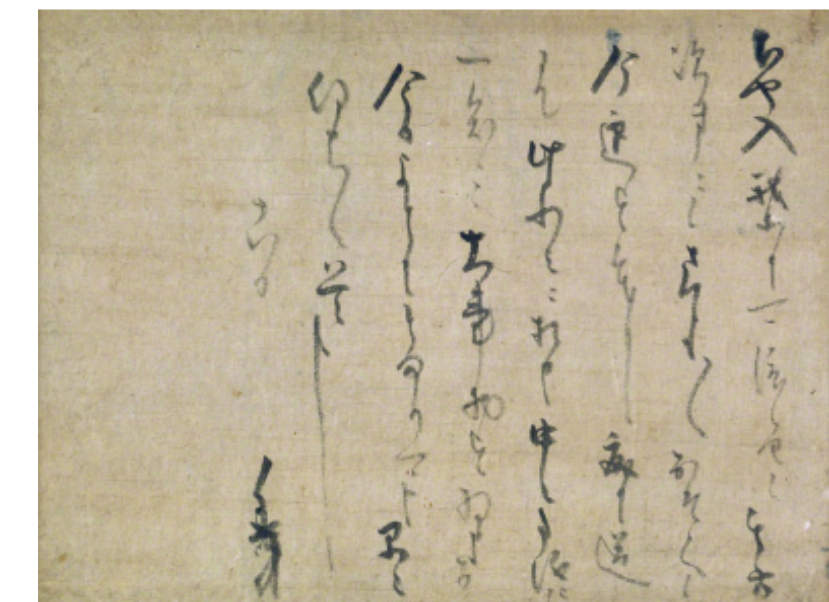
[重要美術品] 辰翰 朗詠断簡

後柏原天皇,Emperor Go-kashiwabara
東京富士美術館



書状

毛利輝元,Mori Terumoto
東京富士美術館



消息

千利休,Sen no Rikyu
東京富士美術館



ジュエリーコレクション



古代ローマのスタジオ

1874年 油彩、板

ローレンス・アルマ=タデマ

1836-1912 イギリス (オランダ生)

A Roman Studio

1874 Oil on panel

Lawrence Alma-Tadema

British (Dutch born) 1836-1912

1870年にロンドンに定住した彼は、1874年にはイギリスを代表する画家の一人になっていた。21点もの作品を完成させたこの年は、彼の生涯の中で最も実りの多い一年であった。アートリエや展示室で、目利きに作品を見せる古代ローマの画家や彫刻家というテーマは、彼の初期の作品でとりわけ重要な位置を占めている。この作品でも、画面右の男が描いた絵に、批評を与える人たちを描いている。画面左上の画架に書き込まれたO p. CXXXVIは、彼の作品番号 (136番) で、1851年の最初の作品からこの習慣は続けられ、生涯で番号は408に達した。

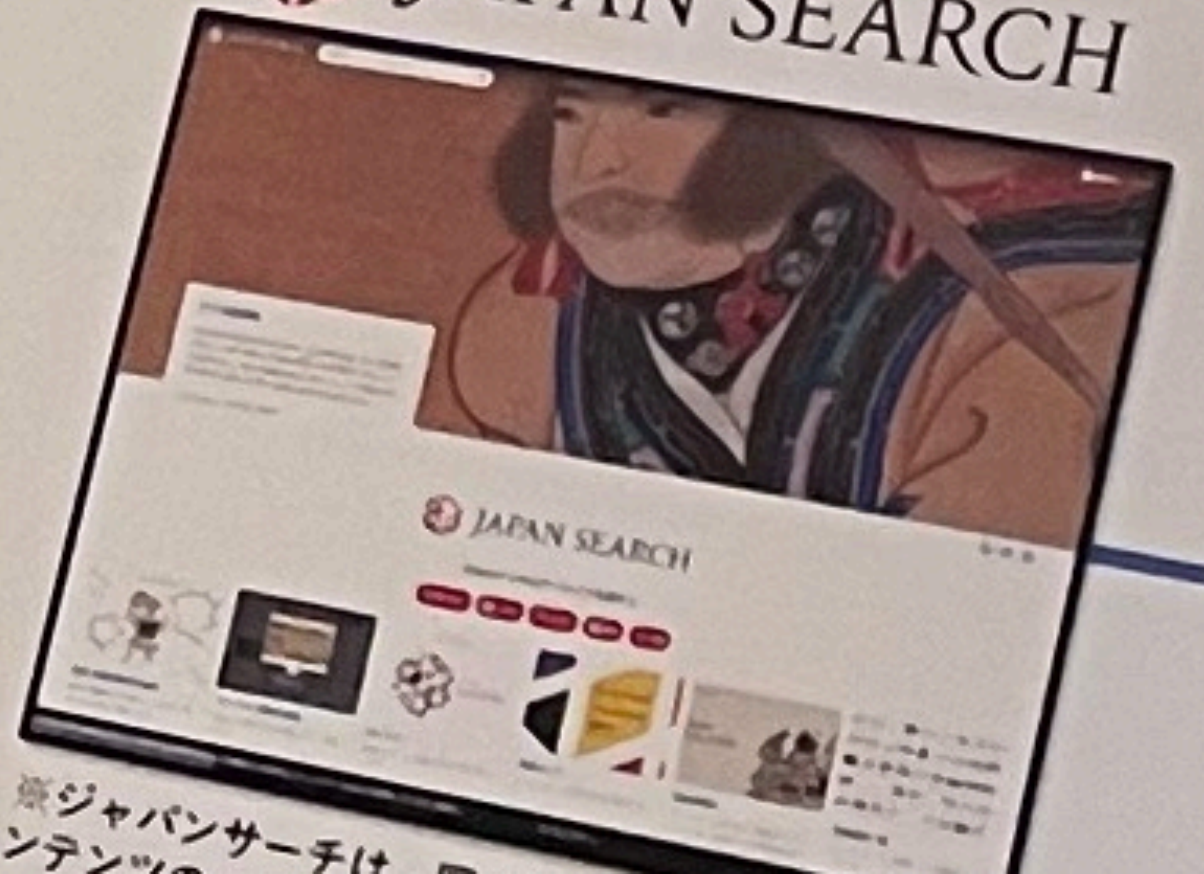


この展覧パネルは、ジャパンサーチのデータを表示しています

デジタルキャプション



JAPAN SEARCH




※ジャパンサーチ検索
コンテンツ



Белла Капелло
Портрет Беллы Капелло
1568 г.


Portrait of Bianca Capello
1568

Белла Капелло
Портрет Беллы Капелло
1568 г.



Белла Капелло
Портрет Беллы Капелло
1568 г.


Portrait of Bianca Capello
1568



Белла Капелло
Портрет Беллы Капелло
1568 г.


Portrait of Bianca Capello
1568

Белла Капелло
Портрет Беллы Капелло
1568 г.



Белла Капелло
Портрет Беллы Капелло
1568 г.

Portrait of Bianca Capello
1568





Informational text panel on the left wall.

Informational text panel on a stand in the foreground.





357B-AE029

古代ローマのスタジオ

1874年 油彩、板

ローレンス・アルマ＝タデマ

1836-1912 イギリス(オランダ生)

A Roman Studio 1874 Oil on panel

Lawrence Alma-Tadema 1836-1912 British (Dutch born)

罗马工作室 1874年 画板油画

劳伦斯·阿尔玛-塔德玛 1836-1912 英国(生于荷兰)

로마 스튜디오 1874년 유화, 패널

로렌스 알마 타데마 1836-1912 영국(네덜란드 출생)



3578-AE029

古代ローマのスタジオ

1874年 油彩、板

ローレンス・アルマ=タデマ

1836-1912 イギリス(オランダ生)

A Roman Studio 1874 Oil on panel

Lawrence Alma-Tadema 1836-1912 British (Dutch born)

罗马工作室 1874年 画板油画

劳伦斯·阿尔玛-塔德玛 1836-1912 英国(生于荷兰)

로마 스튜디오 1874년 유화, 패널

로렌스 알마 타데마 1836-1912 영국(네덜란드 출생)





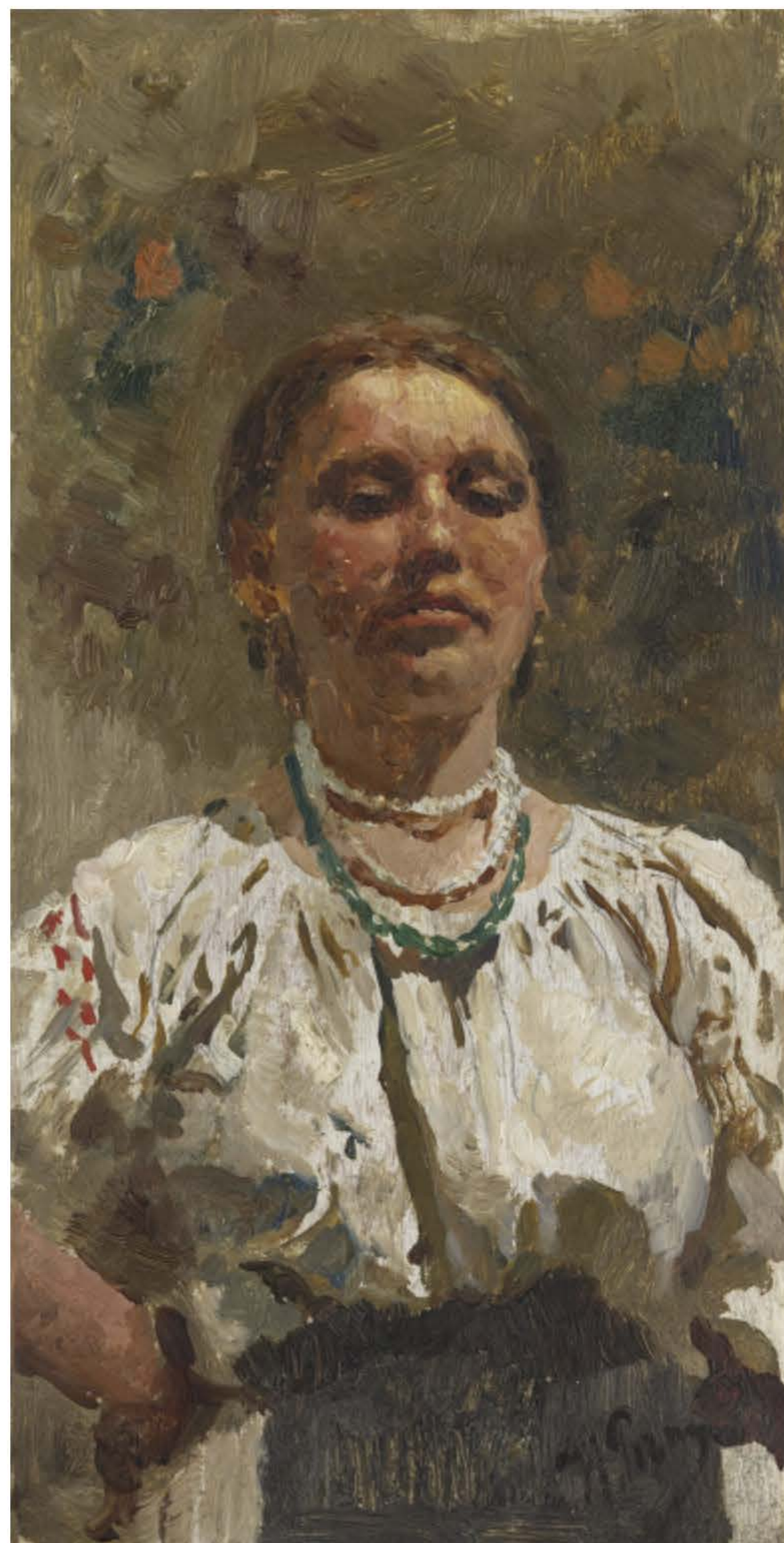
ウクライナ
 1945年
 1945年
 1945年

Ukrainian Woman
 1945年
 1945年

1945年
 1945年

1945年
 1945年





ウクライナの女

Ukrainian Woman

1880年頃

油彩、板

18.4×9.8cm



いいね!

0



ランキングページへ

1881年3月、レーピンはサンクトペテルブルクで開催された第9回移動美術展覧会に、《夕べの宴》（国立トレチャコフ美術館所蔵）を出品した。《夕べの宴》はウクライナの風習を題材にした作品で、若者たちが秋や冬の夜に小屋に集って楽しむ様子を描いている。レーピンはこのテーマを、パリ留学から帰国したばかりの1877年に故郷チュグーエフで構想し、取り組み始めている。1880年夏には資料収集のためにウクライナを旅行し、《夕べの宴》のための習作を多数描いた。

1880年10月、レーピンのアトリエを文豪レフ・トルストイ（1828-1910）が訪れた。その後トルストイが亡くなるまで続く交流の最初の出会いとなったこの訪問では、アトリエのイーゼルに架けてあった未完成の《夕べの宴》やその他の作品について談義が交わされた。その際の様子をレーピンは友人のスターソフに宛てて書いている。「何よりも彼（トルストイ）が気に入ったのは、小ロシアの《夕べの集い》です——覚えていらっしゃるでしょう、あなたが見ようとさえしなかったものです。それを彼は『絵画』と呼んだのです。」

《ウクライナの女》は、トルストイが高く評価した《夕べの宴》に登場する、画面の中央でダンスを踊る若い女性の習作と推測される。ここにはウクライナの民族衣装に身を包んだ若い女の上半身が描かれている。画面右上からの光が、右手を腰に当ててポーズをとる女の陰影を際立たせ、モデルを立体的に浮かび上がらせている。緑の首飾りや肩口の赤い刺繍が白い衣装を引き立て、暗い背景に溶け込むように描かれた赤い花と緑の葉が、写真のソフトフォーカスのように女の存在感をより際立たせている。



德西德里乌斯
1469-1536
Portrait of Desiderius Erasmus
Oil on wood, 1522-23
15.2 x 11.5 cm
Museum No. 1997.10.10



约翰·庞斯
1490-1540
Portrait of John Ponce, the Magistrate
Oil on wood, 1522-23
15.2 x 11.5 cm
Museum No. 1997.10.10



GIOVANNI BELLINI

- ・ 準備期間：
 - ・ 2021年11月16日～
 - ・ 11月下旬 サンプル作成
 - ・ 1月下旬 プロトタイプ
 - ・ 3月下旬 デモ機作成

古代ローマのスタジオ

1874年 油彩、板

ローレンス・アルマ＝タデマ

1836-1912 イギリス（オランダ生）

A Roman Studio

1874 Oil on panel

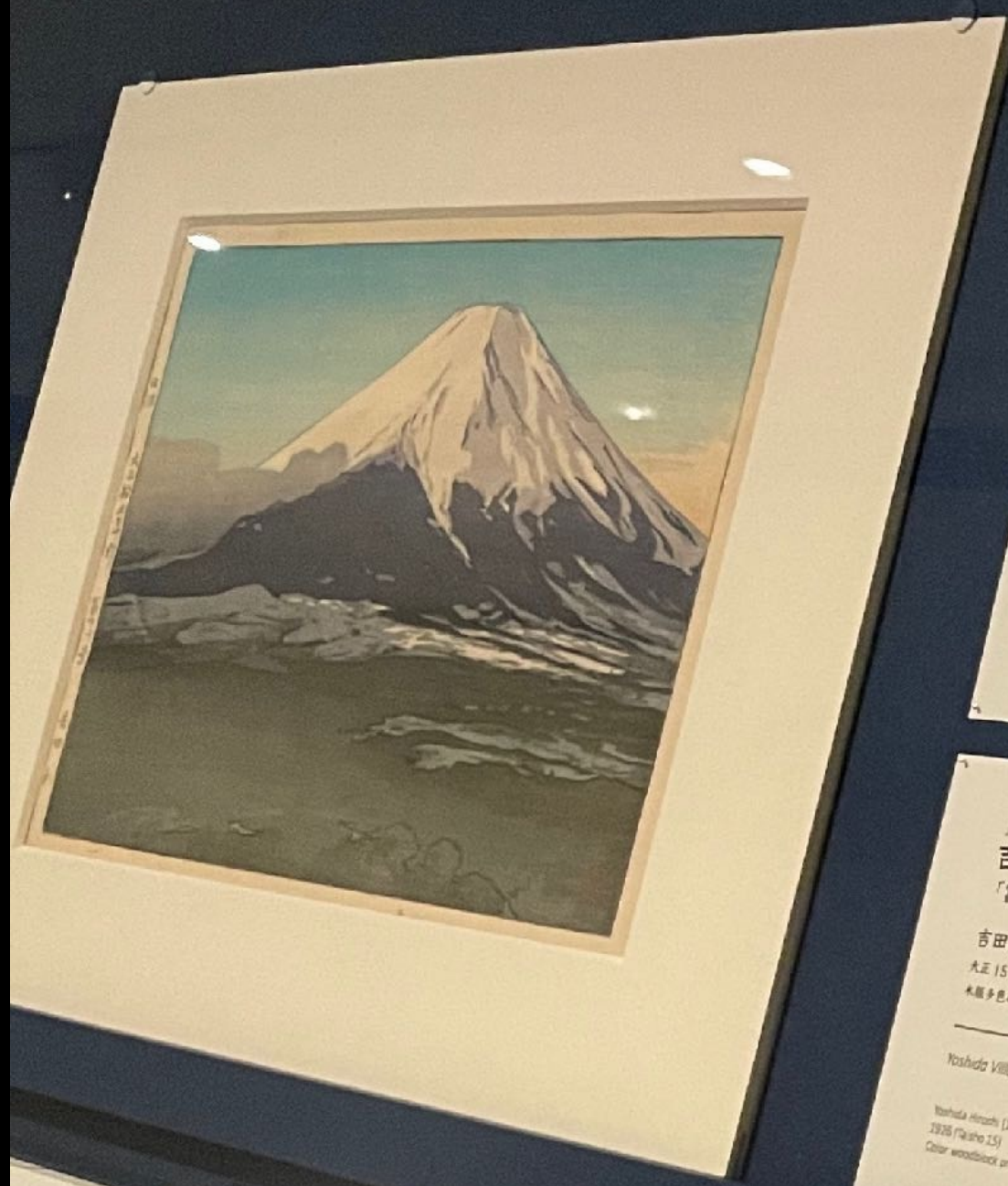
Lawrence Alma-Tadema

British (Dutch born) 1836-1912

1870年にロンドンに定住した彼は、1874年にはイギリスを代表する画家の一人になっていた。21点もの作品を完成させたこの年は、彼の生涯の中で最も実りの多い一年であった。アトリエや展示室で、目利きに作品を見せる古代ローマの画家や彫刻家というテーマは、彼の初期の作品でとりわけ重要な位置を占めている。この作品でも、画面右の男が描いた絵に、批評を与える人たちを描いている。画面左上の画架に書き込まれたOp. CXXXVIIは、彼の作品番号（136番）で、1851年の最初の作品からこの習慣は続けられ、生涯で番号は408に達した。



この展示パネルは、ジャパンサーチのデータを表示しています



「富士拾景」において博は、四季を通じて時々刻々と変化する富士の姿を、洋風の写実表現と独自に習得した“自摺”の精巧な技法を用いて色彩豊かに表現した。この作品では、白雪を頂く富士が、圧倒的な存在感で画面全体を満たしている。

本作が制作された大正15(1926)年には、41点もの木版画が発表され、博の木版画制作において最も多くの作品が生み出された年となった。

吉田村
「富士拾景」より

吉田博 (1876-1950)
大正15年 (1926)
木版多色刷

Yoshida Village, from the Series "Ten Views of Mount Fuji"

Yoshida Hiroshi (1876-1950)
1926 (Taisho 15)
Color woodblock print on paper

デジタルキャプション 実証実験

TOKYO FUJI ART MUSEUM 東京富士美術館

JAPAN SEARCH

APIで作品データを連携 無線通信

Internet

作品情報の表示

電子ペーパー (電子棚札)

※ジャパンサーチは、国立国会図書館が運営する日本の様々な分野のコンテンツのメタデータを検索・閲覧・活用できるプラットフォームです。

電子ペーパー (電子棚札) の効果

- ・作品情報が常に最新の情報で表示されます。(効率化)
- ・ペーパーレス、およびアクリルボードの使用削減を進めます。(環境保護)
- ・誰でも作品情報を閲覧することが可能です。(情報の平等性)

[アンケートのお願い]

持続可能な社会に貢献する美術館にするために、ご意見をお聞かせください

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

吉田村 (「富士拾景」より)

大正15年 (1926) 木版多色刷

吉田博

明治9 (1876) -昭和25 (1950) 日本

Yoshida Village, from the Series "Ten Views of Mount Fuji"

1926 (Taisho 15) Color woodblock print on paper

Yoshida Hiroshi 1876-1950 Japanese

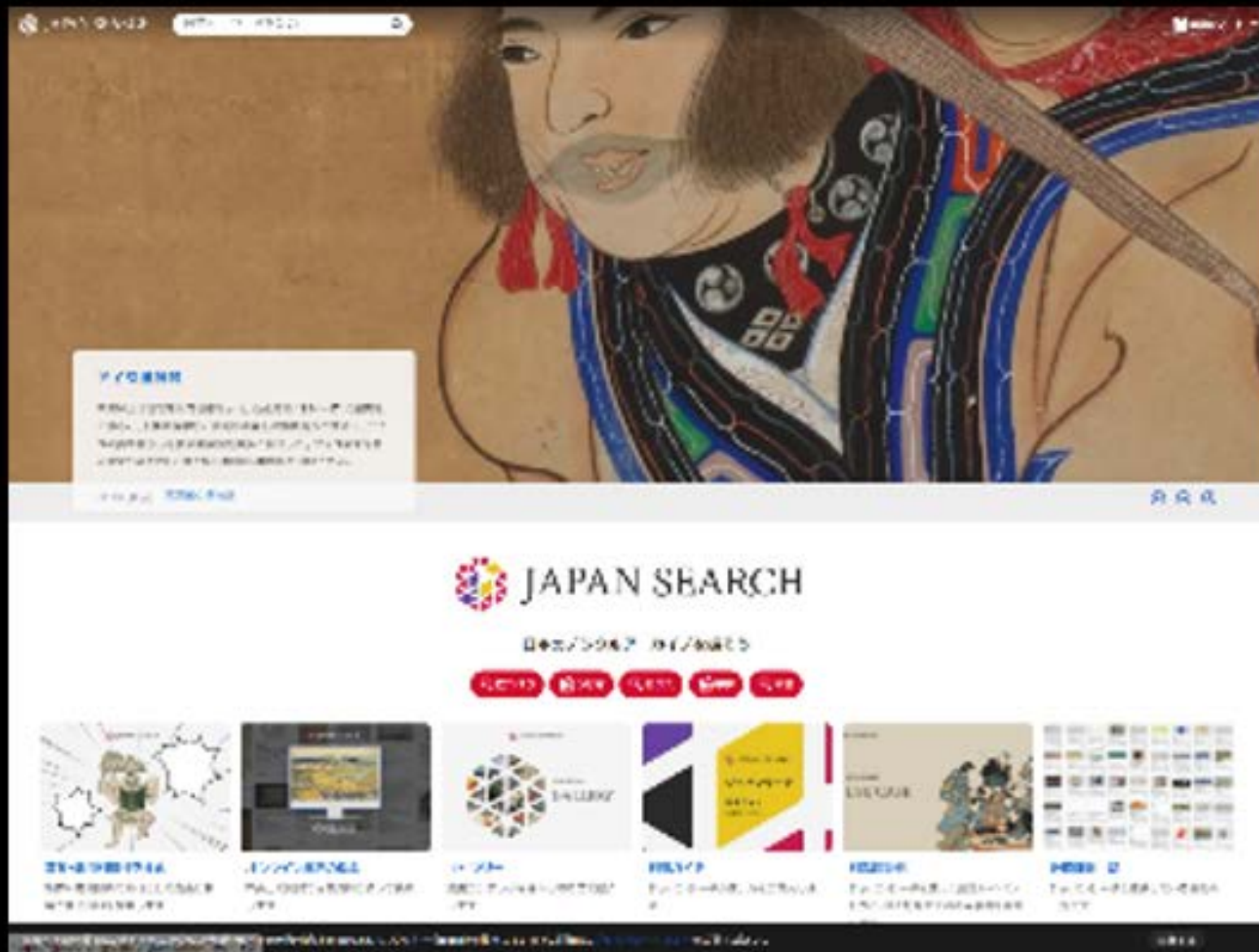
この表示パネルは、ジャパンサーチのデータを表示しています

吉田博の代表的なシリーズ版画に「富士拾景」があるが、このシリーズ版画は、大正15年に3点、昭和3年に7点が制作されて完結している。本作品は、大正15年に制作された3点のうちの一つ(昭和3年)が「馬返し」「河口湖」「朝日」(大正15年)、「船津」「御来光」「馬返し」「山頂朝ヶ峯」「秋」「興津」「むさしの」(昭和3年)がある。「富士拾景」において博は、四季を通じて時々刻々と変化する富士の姿を、洋風の写実表現と独自に習得した“自摺”の精巧な技法を用いて色彩豊かに表現した。本図では、白雪を頂く富士が、圧倒的な存在感で画面全体を満たしている。本作が制作された大正15(1926)年には、「富士拾景」シリーズの他にも、「日本アルプス十二題」の全12点、「瀬戸内海集」のうち8点、「東京拾二題」のうち5点をはじめ、合計41点もの木版画が発表され、博の木版画制作において最も多くの作品が生み出された年となった。

この表示パネルは、ジャパンサーチのデータを表示しています

- ・ 設置期間 :
- ・ 本館 企画展示室 4月28日 (木) ~6月5日 (日)
- ・ 新館 常設展示室 4月28日 (木) ~現在
- ・ グーグルフォームによるアンケート実施

API連携の自動化



API連携

【実証実験】
手動でデータ表示



無線通信

作品情報

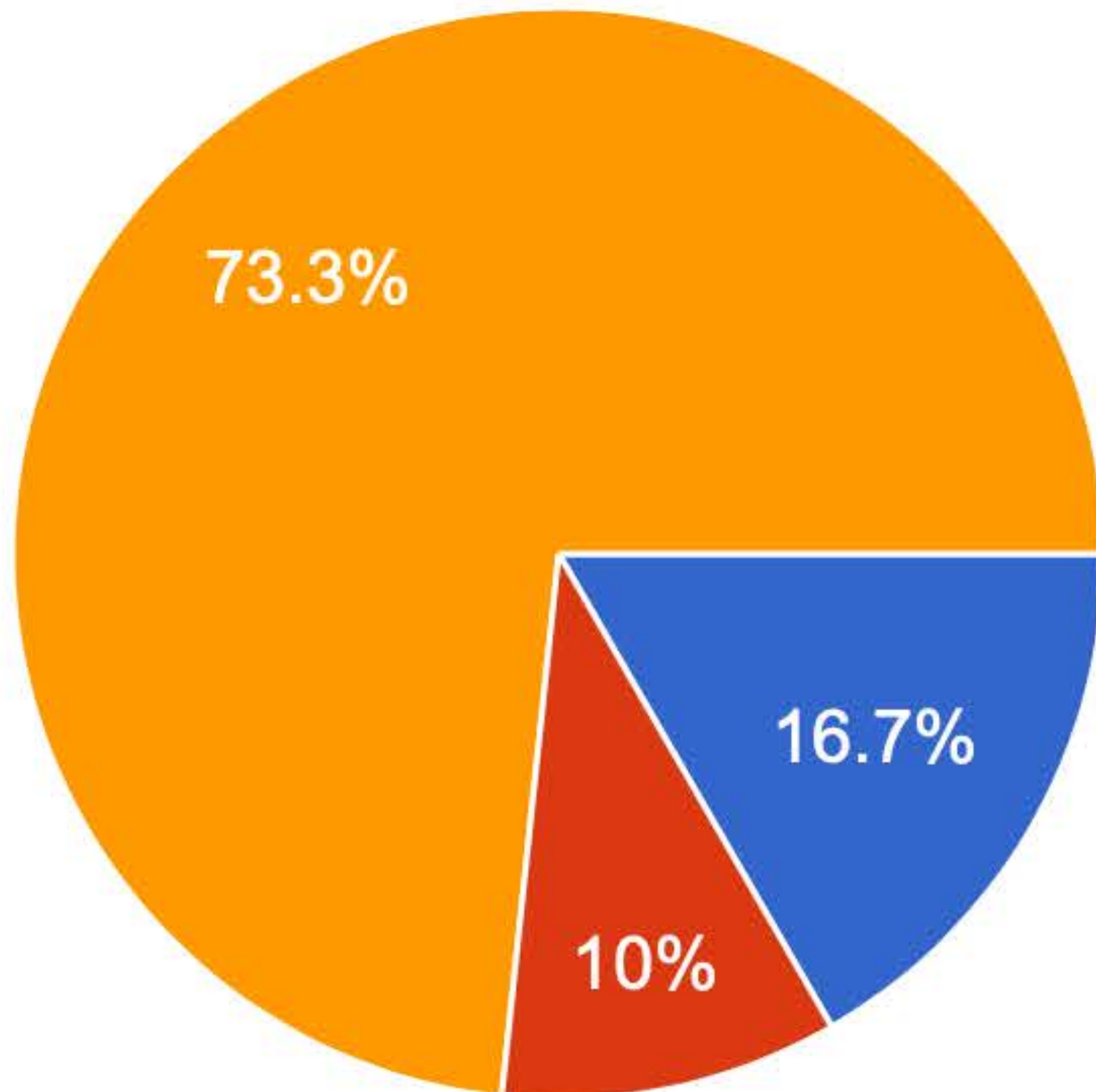


中継サーバー アクセスポイント(固定)

自動でデータ更新

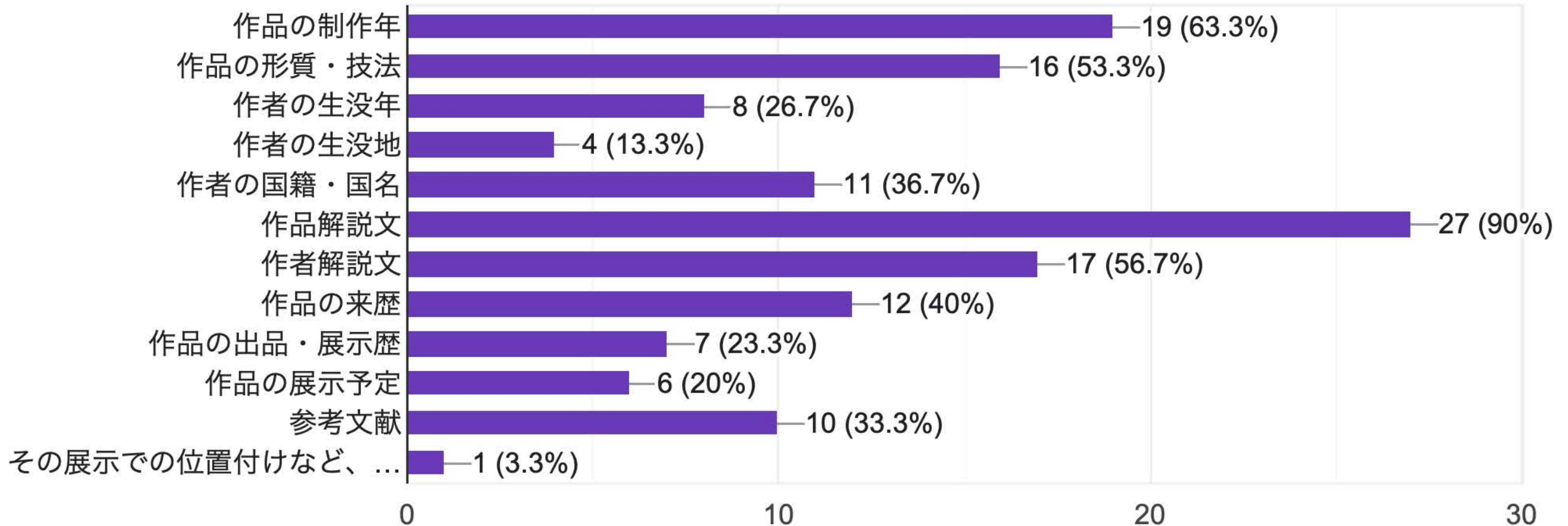
作品データ更新

1. この展示パネルは、日本国内にあるデジタルアーカイブをまとめて検索できるジャパンサーチからデータを引用しています。ジャパンサーチについてご存じでしたか？

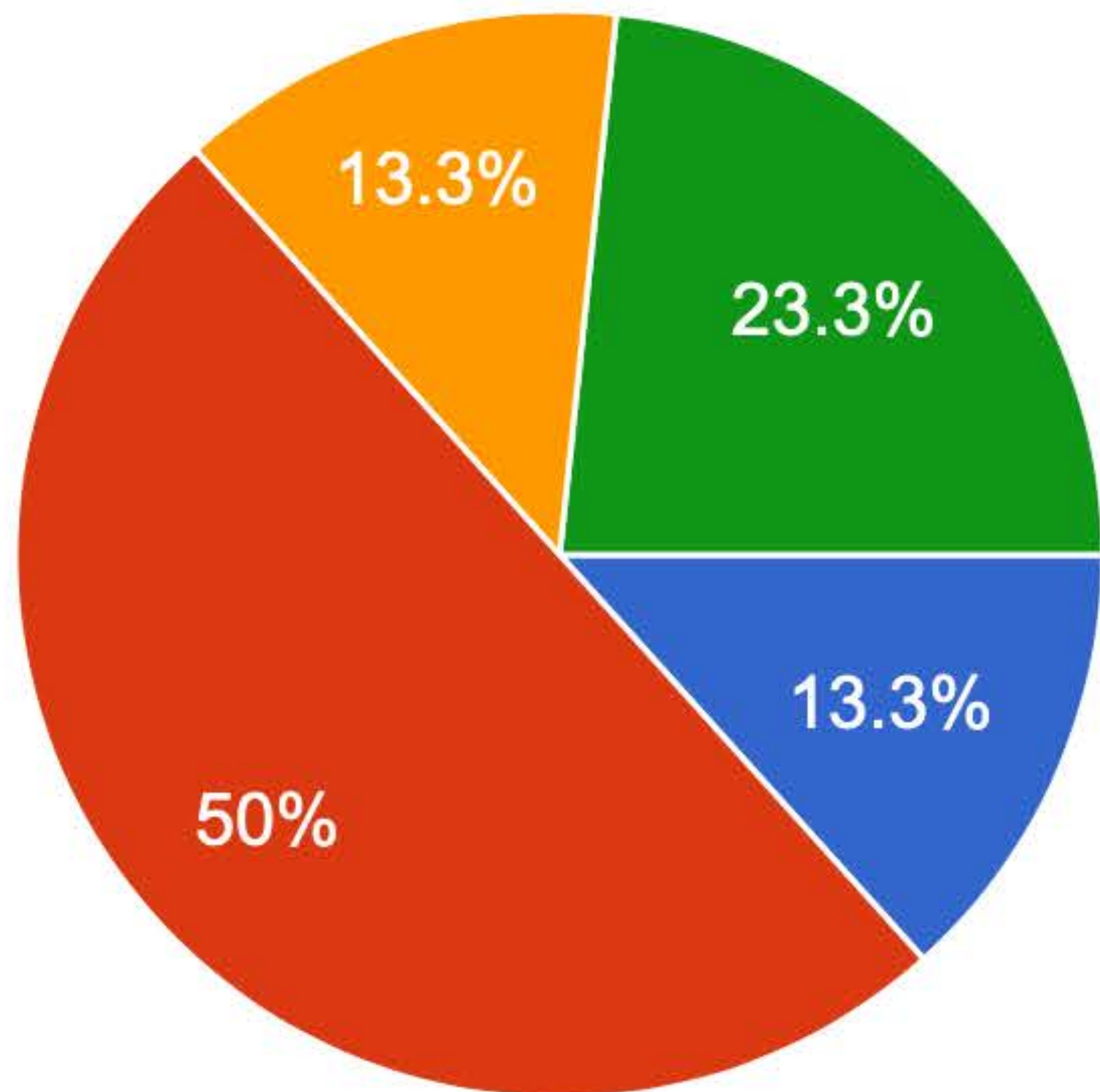


- 知っており、利用したことがある
- 知っていたが、利用したことはない
- 知らなかった

2. デジタルキャプションを用いた展示パネルには、作品名や作者名のほかに様々な情報を表示することができます。今後、どのような情報を表示してほしいですか？



3. デジタルキャプションはパネルサイズや表示内容を変更することができます。作品の情報量としてはどのくらいが適切でしょうか？



- パネルサイズは小さく、必要最小限の...
- パネルサイズは中程度で、情報量もほ...
- パネルサイズは大きく、解説文などで...
- QRコード等でウェブ上で情報を見る...

4. デジタルキャプションについて、自由にご意見をお聞かせください。

- ・今回私が見たサイズでも、作品の情報を知ることができ、とても面白かったのですが、すべての作品にこれをつけるのは、場所としても費用としてと厳しいのかもと思いました。たとえば、ひとつの部屋ごとに、作品を検索できて見ることができるパネルがあればともおもうのですが、そうすると、人が多いときには見れないのと、感染対策の面では難しそうですね。普段のタイトル、QRはそのままに、プラスアルファで置けたら面白そうですが、それだと持続可能、にあまり関係なくなってしまうかもしれません。
- ・今後、是非利用したい。
- ・面白い試みだと思います、多分これからは若い人中心に使われていくのでは？
- ・デジタルキャプションは良いと思いますが、ジャパンサーチなど既存のデータに直接ではなく、その展示会のキャプションにつなげてほしい。これまでパネルやキャプションを読むことで、美術館や学芸員の方々とやりとりしているような気持ちに勝手になっていました。誰でもいつでもアクセスできる情報はもちろん大事ですが、展示会のオリジナリティや美術館のこだわりを感じたいです。
- ・小さすぎてボリュームが多いと作品よりも文面を見てしまう傾向になるため、簡潔な文書での表示が良いと思う
- ・図録などにもQRコードを表示して欲しいなと思いました。
- ・可読性が高くないと読むのが大変なので、行間詰め過ぎは読む気がしなくなりました。フォント選びは大事だと思います。
- ・会場では何がデジタルなのか分からず、帰宅後にこのアンケートを見て、キャプションではなく情報元がデジタルなのだと納得しました。
- ・使いやすいものにしてほしい。
- ・紙と比べて余白が少なく情報が詰まって見えて文字が頭に入りづらい。文字レイアウトは考える余地があると思った。最新の情報を載せられることと、ジャパンリサーチの認知の普及には役立つと感じた。
- ・使い方が分からない。
- ・館内にwifiが欲しいです！
- ・Wi-Fiが利用でき、QRで、利用することを知り、次回もぜひ利用しようと思いました。
- ・ペーパーレスを推進していて良い取り組みだと思います。

- デバイスの表示性能・品質の課題や機材調達の費用対効果など検討が必要な課題
- デバイスは書き換え可能なので展示数分の枚数を用意すれば良いこと
- ジャパンサーチ上のデータを実際の展示室に落とし込む試みとして今後の活用の可能性

“デジタルアーカイブを日常にする”

試み

1) ジャパンサーチに所蔵作品情報を連携すること

2) ジャパンサーチの機能を活用すること

- ・ 検索し、メタデータ、コンテンツにアクセス・利用する
- ・ ワークスペース、ギャラリー機能を利用する

3) ジャパンサーチからAPI等でメタデータを取り出し活用すること

1) ジャパンサーチに所蔵作品情報を連携すること
→全国美術館会議をつなぎ役に連携機関になること ✓

2) ジャパンサーチの機能を活用すること

- ・ 検索し、メタデータ、コンテンツにアクセス・利用する
- ・ ワークスペース、ギャラリー機能を利用する

→オンライン展覧会のリリース ✓

3) ジャパンサーチからAPI等でメタデータを取り出し活用すること
→デジタルキャプションの試み ✓